

保育おおさか

平成22年4月1日 第416号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
(大阪府保育協議会)

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

子育て支援分野特別枠として、3億円を追加し、市町村が行う新たな事業展開を支援

— 大阪府が平成22年度予算を発表しました —

先日閉会した、平成22年2月大阪府議会定例会にて、平成22年度当初予算が可決されました。本号では、このうち保育サービスに関連する予算を抜粋し、以下のとおり報告いたします。

大阪府や市町村の次世代育成支援行動計画（後期計画）の目標達成への支援など、「子育て支援日本一戦略」の方策を具体化し、社会全体で子育て支援するため、関連予算を計上しています。

(金額単位：千円)

事業名	事業内容	21年度予算額	22年度予算額	前年増減	予算要求ベース
地域福祉・子育て支援交付金	地域福祉又は子育て支援分野において、市町村が地域の実情に沿って事業を実施できるよう、交付金を交付。※平成21年度創設	2,073,000	2,073,000	0	
【新】地域福祉・子育て支援交付金「子育て支援分野特別枠」	○地域重点課題事業費 300,000千円（市町村交付金 政令・中核除く） 市町村次世代育成支援行動計画（後期計画）に位置づけた地域の重点課題に対応する新たな市町村独自事業（実施年度：H22～H26） ○分野別リーディング事業 221千円 対象事業：こども未来プラン後期計画に位置づけた主要課題等に対応する先駆的な市町村提案事業（実施年度：H23～H26） ※今年度の費用は選定委員会の運営費	0	300,221	300,221	
安心こども基金事業	「新待機児童ゼロ作戦」による保育所整備、地域の子育て力をはぐくむ取組等を支援し、子どもを安心して育てることができるような体制整備を行うため、安心こども基金を活用するとともに市町村等に対し助成。 ○保育サービスの充実（保育所整備） 6,262百万円 ○保育サービスの充実 1,065百万円 ○すべての子ども・家庭への支援（地域子育て創生事業） 1,914百万円 ○生活リズム向上キッズ大作戦（府実施） 9百万円 等	4,206,122	9,549,780	5,343,558	《保育所整備》創設・増改築等 77施設 《拠点施設整備》創設 7施設
【新】語り継ぐふたばの記憶（安心こども基金活用事業）	家庭や保育所における、幼児期からの生活リズム（習慣）の向上や確立を図るための取組を支援。	9,716	9,716	0	
保育所運営費補助金	多様化する保育需要に対応するため、国制度である保育対策等促進事業実施要綱に基づき市町村が実施、助成する特定保育、休日・夜間保育等にかかる経費を補助することにより、保育所等の機能・経験を活用しながら、保育内容の充実、地域における児童の健全育成と子育て家庭等への育児支援を総合的に支援する。	412,851	225,829	▲187,022	《特定保育事業》 33施設 ⇒ 35施設 《休日保育事業》 26施設 ⇒ 26施設 《夜間保育事業》 4施設 ⇒ 4施設 《保育所休養特別事業》 190施設 ⇒ 188施設 《保育所分園推進事業》 6施設 ⇒ 6施設 《保育基本・増改築等事業》 40施設 ⇒ 39施設
病児・病後児保育事業	子どもが病気の際には、子どもの看護が必要となるが、保護者の勤務の都合等により休職制度の活用が困難な場合も考えられ、少子化対策の課題として病児・病後児・体調不良児への対応が求められている。このことから、児童の子育て支援と就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上に寄与することを目的とし、事業専門の看護師等を配置することで、安心して当該児童を預かる体制を確保する。	358,339	396,536	38,197	《病児対応型》 10施設 ⇒ 12施設 《病後児対応型》 25施設 ⇒ 24施設 《体調不良児対応型》 72施設 ⇒ 84施設
延長保育事業	就労形態の多様化に伴う延長保育の需要に対応するため、保育所の開所時間を超えた保育を行う事業体制を確保するために必要な経費を市町村に対し助成。	0	1,416,000	1,416,000	368施設 ⇒ 368施設
地域子育て支援拠点事業	地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進する。	670,327	0	▲670,327	《ひらけ型》 79箇所 ⇒ 83箇所 《センター型》 4箇所 ⇒ 97箇所 《小規模型》 25箇所 ⇒ 制度終了

◎一時預かり事業、地域子育て支援拠点事業、児童ふれあい交流事業については、次世代育成支援交付金交付金

◎延長保育事業については、都道府県経由の補助金に要する

保育部会からのお知らせ

平成22年度保育部会総会開催が決まりました。次のとおりです。

日時…平成22年5月21日（金）14時から

場所…シティプラザ大阪 2階（丸）（大阪市中央区本町2番3号）

※その他、詳細のご案内は後日お知らせいたします。

保育士会からのお知らせ

平成22年度保育士会総会開催が次のとおり、決定いたしました。

日時…平成22年4月21日（水）14時から

場所…大阪社会福祉指導センター5階ホール（大阪市中央区中寺1丁目1番54号）

※その他、詳細のご案内はすでにお知らせいたしております。

良いのは、
ゆとりの時間をもつのも
（K・S）

我が々大人は仕事の忙し
さを体感するのが難しい
とは思いますが、一度は
ゆとりの時間をもつのも
良いのは、
（K・S）

身の周りに五感で感じ
る四季を探してみませ
んか。梅の香り、路地裏で
ひっそり咲くタンポポ、
川の土手に咲くナタネ、
ほかにもたくさんあるで
しょう。子どもたちと一
緒に、四季を感じる楽し
みや感動をいつまでも持
ち続けてほしいと思いま
す。

入園式などの「式」、交
響楽団を指揮する「指揮
者」、それに春夏秋冬の
四季。最近は温暖化の
せいか暖冬で、夏のシ
ズンが長くなってきてい
るような気がしますが、
食料ひとつとっても、
技術の進歩で四季を感じ
るのは難しくなってきた
います。飽食の時代だか
らこそ、旬の食材を味わ
えるようになってほしいの
です。

（しき）
と言えは
何を連想
しますか。
別れの
卒園式
の時期
待た不安



保育現場で子どもの安全を守るために

―研修会で河野朗久・河野外科医院理事長講演



河野朗久氏

「子どもの安全を守るために(虐待・事故・感染症)」保育現場における法医学的視点」をテーマにした保育部会の研修会が2月25日、医療法人河野外科医院理事

長で大阪府監察医の河野朗久氏を講師に招き、大阪社会福祉指導センターで開催されました。

虐待を見逃さず 写真記録に残そう

河野氏はまず、乳幼児が危機的状態に陥る状況として、児童虐待・突然死・不慮の事故・感染症などの事例を紹介。なかでも児童虐待について、保育園からの通告は大阪府が一番多く、子どもたちが助かるケースも多いと指摘されました。

厚労省の調査によると、わが国の虐待による子

どもの死亡数は年間50〜60人(嬰兒殺等を除く)と報告されています。虐待が通告され、表面化する児童数は10分の1程度。

「虐待」が「事故」かについて見極められず、通告が遅れるのが要因の一つにあげられています。

保育園では「これぐらいの傷」を見逃さず、傷を見つけた時点で正確に写真撮影し、記録を残すことが必要と河野氏は強調。写真撮影の際も、子どもが信頼している大人と一緒にできる限り自然なポーズをとり、傷を真正面から撮影することが重要と付け加えられました。

また、虐待は妊娠中も

含まれていることに触れ、母親のたばこ、お酒、覚醒剤などを列挙。そのような場面に遭遇すれば、「お母さん、お腹の赤ちゃんがしんどいって言ってるよ」と声かけすること、そして母親の意識を赤ちゃんと向け、関わることでできるきつかけになると説明されました。

発熱と脱水に特に注意が必要な感染症

感染症については発熱と脱水に特に注意することが大切ということです。急性肺炎があるにも、38度7分の熱があることしかわらず、赤ちゃんの熱は高いもので問題ない、と

突然死は現在、海外では起きていないとされていますが、日本の厚労省だけがSIDS(乳幼児突然死症候群)という特殊な病気が存在するという前提で議論されていることでした。SIDSという名前に惑わされるのではなく、赤ちゃんをうつつせ寝にさせる

と危険な状態になると考

えることが大切で、保育園でも授けられている赤ちゃんの観察を怠ってはならないのはいうまでもありません。

法医学的な立場から大切なことについて河野氏は、できるだけ客観的に物事を見る▽状況判断をしつかりする▽信頼できる技術を用いる▽コミュニケーションのコミュニケーションを大切に

を大切にする▽それらを

まとめると、保育士は何をなすべきか、今後の取り組みに生かすべく心を引締めた機会となります。

(編集委員 M・S)

まとめると、保育士は何をなすべきか、今後の取り組みに生かすべく心を引締めた機会となります。

(編集委員 M・S)

まとめると、保育士は何をなすべきか、今後の取り組みに生かすべく心を引締めた機会となります。

(編集委員 M・S)

まとめると、保育士は何をなすべきか、今後の取り組みに生かすべく心を引締めた機会となります。



多くの参加者が聴講

共同募金配分金の案内

今年も10月から実施される平成22年度(第64回)共同募金運動開始に先立ち、共同募金配分申請受付を次のとおり開始します。

対象...大阪府内で行う民間社会福祉事業、更生保護事業、その他社会福祉を目的とする事業を行う法人・団体。

受付期間...平成22年5月6日から5月20日まで

問い合わせ先...大阪府共同募金会

TEL 06-6762-8717 FAX 06-6762-8718

mail osaka@kikougekai.or.jp (件名に「配分申請について」と明記して下さい)

URL http://www.akca.or.jp

プロ野球公式戦への招待の案内

プロ野球チーム「オリックス・バファローズ」より2010年度プロ野球公式戦への招待をいただきます。

招待対象者: 保育部会会員 保育園の園児全員

試合日時: 平成22年6月12日(土)14時00分

6月13日(日)13時00分

対戦カード: オリックス・バファローズ 対 横浜ベイスターズ

実施球場: 京セラドーム大阪

招待席: 内野自由席(招待試合のみ有効)

申込期日: 平成22年4月16日(金)必着

※期日以後のお申し込みについては、お受けできません。

問い合わせ先: 大阪府社会福祉協議会・施設福祉部

TEL 06-6762-9001 FAX 06-6762-4226

保育部会事務局

TEL 06-6762-9001 FAX 06-6762-4226

保育部会事務局

TEL 06-6762-9001 FAX 06-6762-4226

保育部会事務局

TEL 06-6762-9001 FAX 06-6762-4226

豊中市 おかまち保育園

週1回の図書館通いは絵本との出会いの場
地域の子育て支援に力入れ参加者も大盛況



大好きな本に囲まれて

社会福祉法人愛成会おかまち保育園は平成18年4月、豊中市から民営移管されました。同市の中心、阪急宝塚線岡町駅から西へ急ぎ歩けば住宅街、近くに図書館、美術館、小学校と教育文化施設があり、そんな閑静な環境の中に同保育園があります。

理事長の得意之丞先生は「明るい雰囲気、園舎の中で、子どもたちが様々なものにかわり、遊びを創造的に展開している保育を行っています」と話されました。公立の名残りがうかが

える保育を進めてほしいという要望を生かし、今まで運営されてきましたが、昨年「保育指針が公立の良い点を残しつつ、私立としての独自性を発揮するため、今後、いろいろな取り組みを目指す」保育方針は、表現活動を通して豊かな「感性」と「心」を育てる▽友だちと積極的に交わり、いろいろな遊びの工夫ができる子どもを育てる▽自分で考えようとし、行動できる子どもに育てる。近くの図書館に週1回通い、お気に入りの絵本との出会いの場を作られています。読み聞かせの環境にも慣れています。特に子育て支援・地域支援に力を入れ、0歳児から1歳児の「ビヨビヨサークル」と1歳児以上の「あそびのひろば」は多くの参加者があり大盛況。

また、保育園の散歩コースに大石塚・小石塚古墳があり、秋にはドングリ拾いが楽しめる場所です。森木公園では地域の子供祭、秋のカーニバルが行われ、幼・保・小・中の子どもたちが参加するイベントも組まれ、保育園の職員もその運営に参加し、地域に開かれた施設として地域住民との交流を深められているようです。(編集委員 M・H)



保育園を

たずねて 402



父を越えろ!

現在の法人とみなんで協力し合って対応したところ、その「さくら」の二利益もあつたのではと思われま。また、保護者から、従来通り園児の樽太鼓の取り組みを継承するよう要望が

あつたことから、職員のリフレッシュも兼ねて和太鼓を積極的に取り入れたところ、今では本格的な和太鼓のため、市の行事にも参加できるようになりました。

寺内(「じない」地名)は、平成16年4月に民営化した定員90名の保育園です。「さくら」が入った由來だそうです。民営化による困難を乗り越えられてきたのは、園長先生の自慢である。分、商店街が近くにありま

「職員を養成したこと」と「みなんで協力し合っ

て対応したところ、その「さくら」の二利益もあつたのではと思われま。また、保護者から、従来通り園児の樽太鼓の取り組みを継承するよう要望が

あつたことから、職員のリフレッシュも兼ねて和太鼓を積極的に取り入れたところ、今では本格的な和太鼓のため、市の行事にも参加できるようになりました。

和太鼓取り入れ園児も職員もリフレッシュ運動会で跳び箱や馬になる大活躍の「父の会」

守口市 寺内さくら保育園

(編集委員 J・F)

東大阪市 本庄保育園

裸足保育や乳児クラスを担当制実践
根づく地域交流、食育活動に生かす



丸い窓が特徴的な園舎

らしく生きていくことができるような環境づくりを強く願い、「明るく元気に伸びゆく子どもを育てたい」という保育方針を掲げられています。

園舎内では裸足保育が行われているほか、専門講師による体操の指導、徒歩30分の緩衝緑地公園(吉原公園)への園外保育など、日々の体力作りに取り組まれています。

乳児クラスでは担当制(グループ)保育を実践。集団生活であつても一人ひとりを大切に、子どもと大人が安定した心の関係をむすび、寄り添うことが大事だという考えは園全体に浸透し、実践の成果を感じることができました。

地域の方との交流が5年の間に少しずつ根づいてきたとのことでした。

例えば、親子教室、園庭開放、保育園主催の親子まつりなどに、子どもの地域の親子が参加され

たこと、近隣の農家の方に芋掘りのお世話をしていた話など、ふだんから畑の見学をさせてもらい、これが子どもたちの「食育活動」にもつながっている。「養護と教育の一体化」を目指し、保護者や地域に信頼される保育園であり続けたいという園長先生の熱い思いに感銘を受け園をあたにしました。

(編集委員 Y・N)



保育園を

たずねて

403



を預かってほ

奈良県境に接し、ぶどう畑と住宅が広がるのどかな小高い場所に立地しているのが柏原市の園分保育園です。近くには寺や同じ法人が経営する児童養護施設があります。

浄土宗の教えを基本理念に、今年、法人創立85周年、来年には保育園認可60周年を迎えられます。保育園は戦後、近隣の

しいという要望から、当初は寺の境内にブランコ、鉄棒などを設置して始められたそうです。園舎は昭和48年に、木造から鉄筋コンクリート4階建てになり、当時は珍しい屋上プールが設けられ、園児の定員も増えて現在は150人。2歳児から5歳児の園児は毎朝、朝礼があり、「おちかいいことば」を唱和します。

健康な身体には健全な

一、私たちは今日も良い子になります。先生のお言葉をよく守り、元気で親切にします。また、「おやくそく」として

一、生き物をかわいがります。二、お道具を大切にします。三、悪いことはすぐやめます。四、お友だちは仲良くします。五、毎日、一つずつ良いことをします。

心がある。この考えから、3歳児、5歳児には体育講師が月2回、指導されています。5歳児の月2回の硬筆指導は半世紀も続けられています。園児たちは野菜作りや米作りにも取り組み、モノを育て、収穫する感動を味わう機会になっています。自分たちで作った野菜などをみんなで食べる喜びを感じてもらおうと、50周年記念の時、ヨーロッパのしゃれた古城風のランチルームを増設されました。レストラン気分でお食事を堪能する園児たちのほほえましい姿が見られるそうです。

(編集委員 H・M)



上手に鉛筆持てるかな?

柏原市 国分保育園

仏の教え基本理念に朝礼で誓いと約束を唱和
給食は古城園ランチルーム、野菜や米作りも

心がある。この考えから、3歳児、5歳児には体育講師が月2回、指導されています。5歳児の月2回の硬筆指導は半世紀も続けられています。園児たちは野菜作りや米作りにも取り組み、モノを育て、収穫する感動を味わう機会になっています。自分たちで作った野菜などをみんなで食べる喜びを感じてもらおうと、50周年記念の時、ヨーロッパのしゃれた古城風のランチルームを増設されました。レストラン気分でお食事を堪能する園児たちのほほえましい姿が見られるそうです。



編集委員による座談会の様子

「保育のまど」は6回にわたり「園児の体力づくり」をテーマに連載しました。総括編として編集委員による座談会を開催。時代の変化に対応した体力づくり、子どもたちの取り組みのようすなど活発な意見が交わられました。主な内容は次のとおり。

（司会 齊藤和正編集委員長）

力 子もたちの「体力づくり」に焦点をしばり保育園のさまざまな取り組みを紹介しました。最近では新型インフルエンザが流行し、子どもたちにも感染の広がりをみせましたが、日頃から丈夫な身体づくりをしておくことは大切ですね。みなさんの保育園ではどのような取り組みがされていますか。

A 茨木市のたんぽぽ安威保育園の取り組み（3月号掲載）が紹介されましたが、毎年、ブロックでサッカーク大会が実施され、当園も参加しています。今年で20回目。サッカーク大会を通して経験的に言えることは、園児の目的意識が高いとゲームへの取り組みも積極的でスキルも高い。ルールなどを理解することで意識も高くなり、サッカークを楽しくていようすがはつきりうかがえます。保育園側は、園児たちに目的意識をもつて取り組みでもめるよう、また園児たちの意欲を掻き立てる工夫が必要ですね。

B 当園でもサッカークを取り組んでいますが、ルールを通じ園児たちが規律を学んだり、一つの目的に向かって挑戦する姿も見られますね。一方で、サッカーク競技は脚を使いますが、ボール投げや跳び箱など腕、手を使う運動に苦戦している園児たちの姿にも気づくことができます。できる限り多くのことに挑戦できる機会が子どもたちに必要だと感じます。

今の子どもたちの体力が落ちているのか気になるところです。昔と比べ、食事の栄養面などを考えても子どもたちの体格は大きくなっていると思います。しかし、体力低下については、子どもたちの取り巻く環境が変化し、身体を思いきり動かせる場所も限られてきています。ま



A 現在は昔に比べると、子どもたちの体力低下がデタラメと現れていると聞きます。実際はどうでしょう。園児たちの中には脚の早い子、力強い子も少なくない。本当に昔の子どもに比べて

ルール学び、目的意識
養う取り組み必要

昔に比べ体格と体力の
バランス欠く

た、一つのことにとことん取り組む子どもが減ったように感じますが、いかがでしょう。

子どもの体力を 伸ばす機会を損なわずに 安全性への意識変化に対応 —「園児の体力づくり」連載を終えて

編集委員座談会

A 当園の例ですが、園児の登園が一番多い手段が車での送迎。そんな中で、園児の一人が毎日、700から800mの距離を保護者と一緒に徒歩で登園しています。そのせいで、同年代

の子どもたちに比べ、歩く持久力が高いと感じることがあります。

E 体力づくりに関連し、保護者からのケガに対する不安や敏感な反応を目の当たりにすることが結構ありますね。保育士た

ちが「子どもたちにケガをさせないように」とついつい取り組みにブレリア実情もありますが、体力を伸ばすという意欲は、子どもが本来もっているものですが、その機会を狭めているのではないかと懸念しています。

D 子どもたちがケガをしたり、倒れてちよつとケガをした場合でも、保護者対応に追われてしまい、保育士が疲れ果ててしまうというケースも見受け

る中で、子どもたちはケガを恐るあまり、安全を優先するばかりに、園児の体力づくりの機会を失っていることも気になる点ですね。子どもたちが実際に倒れそうになった時、咄嗟に手をつくなどの反射力や危険察知能力を培う機会を奪うことに繋がるのではないかと感じるからです。

B 体力づくりを通して挑戦し、失敗を体験することによって、子どもたちの身を守ることを覚える大切な過程だと考えられます。ただ、ケガを心配する保護者の声が強くなると、保育園としては複雑ですね。

C 当園でもつい最近、園児が不注意でケガをしてしまいました。保護者に状況説明をしますと、「自分でこけたんやったら、しゃーないな」と理解を示してくれたことを覚えています。保護者の心配の声が多く聞かれる中で、子どもたちはケガをしてしまふこともあるというように理解を示していただけた感じが良かったです。

司会 時代とともに、安全性への意識や子どもたちの体力づくりの場などが変容してきています。子どもたちが本来、持ち合わせている体力の可能性を十分に伸ばす機会を損なわないよう、それぞれの園に見合った独自の取り組みが大切ですね。本日は有難うございました。

れられます。

司会 今年の保育海外研修で視察したオーストラリアの施設では、子どもたちが使う園庭に大きな岩がいっぱい置いてありまして、普段、子どもたちの身の回りに存在するものを園庭に取り入れ、実際に触れ、どのように接していく必要があるかを学んでいたと説明されていました。

今年度の保育海外研修で視察したオーストラリアの施設では、子どもたちが使う園庭に大きな岩がいっぱい置いてありまして、普段、子どもたちの身の回りに存在するものを園庭に取り入れ、実際に触れ、どのように接していく必要があるかを学んでいたと説明されていました。

